

皆さんの地域の活動を教えてください

期限を15日まで延長しました！ご回答お待ちしております

北海道から沖縄までご意見募集中です

NPO等 民間団体の皆さまへ

# 子育て世帯へのアウトリーチ支援等 全国調査アンケート

## 11.15金 回答メ切

オンラインで簡単回答15分！



回答はこちらから

<https://hiomare-takushoku.jp/minkan2410>



※本調査は、令和6年度 内閣府「孤独・孤立対策担い手育成支援事業」の一環として実施されています。

## 回答ご協力を頂きたい皆さま

子どもや親子支援を行うNPO等の民間団体、  
社会福祉法人の皆さん、どうぞご協力をお願いします！

### こうした活動を行う団体の皆さま

子ども食堂・地域食堂 居場所事業 SNS相談  
フードバンク 学習支援 ホームスタート 親子カフェ  
子ども宅食 フードパントリー ひとり親支援事業 など

いろいろな形で、広く

「親子・子どもに関する活動・事業・支援」を  
しているNPO、民間団体や事業者

### 福祉や保育事業者の皆さま

児童家庭支援センター 社会福祉協議会保育園・子ども園 など

子ども・親子に関する福祉・保育事業者

お知り合いの団体さま・事業者さまへの  
本アンケートのご紹介・ご案内も大歓迎です！

## 問い合わせ先



認定NPO法人フローレンス（連携先（一社）子ども宅食応援団）  
questions@hiomare-takushoku.jp

## アンケートの概要



### 01

### 地域活動の認知度

さまざまな地域の子ども支援活動それぞれの  
認知度や、イメージについて教えてください。

### 02

### 実施や検討の状況

定期的なアウトリーチ型の食支援活動（子ども  
宅食など）の実施・検討状況を教えてください。

## 「なぜ全国調査をするのか？」

- 「支援が届きにくい親子とつながるきっかけを作るには、どうすればいいのか？」「関係構築が難しい家庭や、周囲の目を気にして支援をなかなか受けづらい子育て世帯に、どうアプローチすればいいのか？」・・・そんな悩みが全国から聞かれています。
- 食支援をキッカケにした「アウトリーチ支援」を始める自治体や団体さんが徐々に増えています。
- しかし、アウトリーチ支援は事業設計がしづらかったり、「始めてみたいけれど、どうすれば…」などの悩み事が全国共通で聞かれます。

こうした状況や課題、先進的な取り組みを見える化・整理し、  
全国の皆さんに情報提供したり、国や自治体に提案を行いたいと  
考えています。1/28には官民連携セミナーを開催します！

目安の回答時間は15分です。

回答前に、質問を事前に確認したい場合は以下をご参照下さい。

基礎情報	団体名、都道府県名、団体所在地、法人の種類、活動規模、主たる活動、メールアドレス等
認知度に関する質問 (2問)	<p>あなたは以下の各活動について、どの程度ご存じですか。</p> <p>こども食堂・こども宅食・フードバンク、パントリー・ホームスタート・子ども第三の居場所</p> <p>・全く知らない    ・名前だけ知っている    ・名前だけでなく、取り組み内容がある程度知っている ・名前だけでなく、取り組み内容をよく知っている</p>
	<p>あなたがこれらの活動についてお持ちのイメージをそれぞれお答えください。</p> <p>こども食堂・こども宅食・フードバンク、パントリー・ホームスタート・子ども第三の居場所</p> <p>地域に根付き親しまれている    子育て世帯の安心感につながる    市民の孤立防止、つながりづくりとして重要 比較的簡単に始められる    専門知識やノウハウが必要    多くの物資や資金が必要    など</p>
実施状況に関する 共通質問	<p>宅食等の食支援を活用した訪問見守り活動の実施状況・意向 (食堂等の活動の一環として実施している場合等もご回答をお願いします。)</p> <p>・既に実施している    ・実施したい    ・やや実施したい ・どちらともいえない    ・あまり実施したいと思わない    ・実施したいと思わない</p>
未実施団体向け質問	<p>「どちらともいえない～実施したいと思わない」と回答した方向け</p> <p>・いまの事業や活動に集中・注力しているから    ・自団体の目的や目指すものとあまり一致しないから ・実施を考えると、課題感や負担感が大きいから    ・特に理由はない</p>
実施に関する負担・ ハードル	<p>実際に始めることを考えたときの課題や悩み事として、あてはまるものを全てお答えください。</p> <p>実施するために必要な情報、ノウハウが足りない    参考となる導入事例が少ない 行政の理解・協力が得られない    食品等の支援物資が不足している・目処が立たない    など</p>
実施済・検討中団体 向け質問 (3問)	<p>成果・効果としてのどのようなことを期待されますか。主なものを2つまで選んでください。</p> <p>貧困・経済的困窮への直接的な支援    市民のにぎわいづくり、交流の促進    児童虐待の発見や予防 支援が必要な家庭の見守り    孤独感や孤立状態の防止、軽減    基本的な生活習慣の支援    その他</p>
	<p>【規模】 支援世帯数</p> <p>【概要】 事業概要が分かるWebサイト等の該当URLを教えてください。</p>
全団体共通 (任意)	<p>「周囲の目が気になる」といった心理的な葛藤、「過去に支援を求めて嫌な思いをした」経験や、孤立する状態などがあり、「他者からの支援を受けづらい状況にある」子育て家庭や子どもへの関わりについてお聞きします。このような家庭や子どもたちについて、どのような事に課題を感じ、どのような取り組みをされているかお答えください。</p>

- 導入で悩む地域と、ノウハウが蓄積した地域の交流の促進や、国への制度改善提案等の目的で、黄色部分の設問は、「地域ごと実施状況一覧」として、こども家庭庁やNPO、他の自治体からの問合せに対して情報提供される場合があります。
- 本調査の回答内容については、認定NPO法人フローレンス、協力団体である一般社団法人こども宅食応援団が情報処理を行います。
- ご質問や問い合わせは <questions@hiomare-takushoku.jp>までお願いします。